

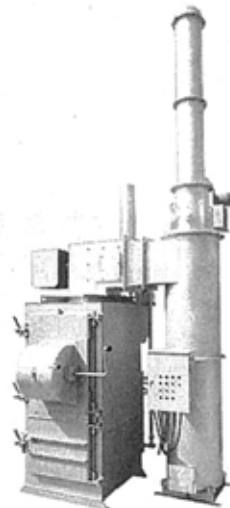
DAI-TO販売

DAI-TO販売(本社・愛知県瀬戸市、井上滋樹社長)はこのほど、水冷式焼却炉「ISGモデル」を発売した。既存の「IHGモデル」をベースに焼却炉の構造・設計を見直し、燃焼能力と安定燃焼の一層の向上を実現した。

六つの特長で性能を高める

特長は①高速ジェット燃焼で燃焼用エアのバランスを最適化し能力をアップ

新型焼却炉を発売 燃焼能力さらに向上



既存モデルをグレードアップし新発売した水冷式焼却炉「ISGモデル」

- ②新型サイクロン集じん室 型式は「ISG・400」
- ③消煙・集じん能力を大幅に向上
- ④水冷式で安定燃焼と長時間連続運転が可能
- ⑤大きなごみも簡単に投入
- ⑥炉内板厚を増すことでさびなどによる腐食への耐久性をアップ
- ⑦新タイプの消音器で送風機から発生する音を低減。

焼却炉の構造に関する全ての法規制に適合している

「生産性向上設備投資促進税制」などの優遇適用が可能。同社では「燃やすことを追求したプレミアムモデル」としてアピールしていく方針。

ISG・600の税別価格は五百十五万円。運賃・取り付け費は別途。ISGモデルの販売目標は初年度三十台、八千五百万円。全国の展示会で燃焼テストを見学することができ。問い合わせ先は同社お客様窓口、電話0120(21)31336。

(谷 篤)